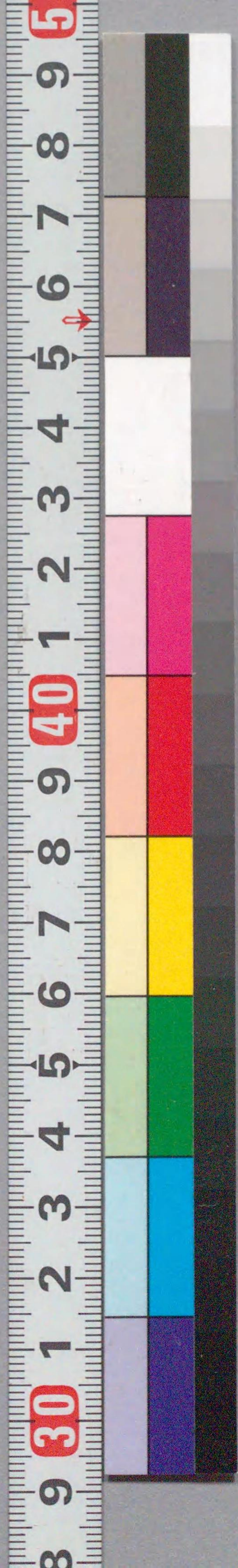


国立国会図書館

恩愛猿仇討：3巻 207-725



ガラス使用



前編ハ猿仇討全部
後編ハ陸友細合卷

西面山山世次鑑

支考猿の榎樹と云々百歳を以て撰と

かど岩の猿叫月能組公の言結を敵朝四

莫二の劫定も太郎兵衛龜抜浪渡猿の

曲馬子猿の狂言執云々猿子引きて人上を

中一独の猿利根猿の庖丁料理家の中

傳りて作者も亞屋埋猿の人志似今様の

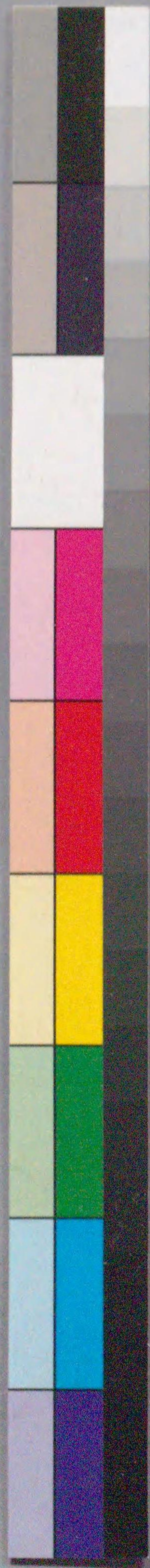
8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

流行りゅうこうはまろせ書肆しよせいの應需おうえん勿な往昔むかうと搜さがく
 援えんの歎なげ討うちを終つひに呈ていす不ふ投とうとて序まよせよと云いふ
 原はらるる青眼せいがんの友ともなる虚呂利きよろり罐かん子の両ふた面めん中ちゆう
 世鑑せかんと号なづけしを聞き卷まくを熟じやく院いんとて其その趣しゆ向かうの
 新しん支し敷し頭とうの躰たいう手て緑りよくの嶮あやう面白おもしろ茶ちや本ほんの花はな
 茶ちや口くちひらく障ぢやう子の破やぶ完かん春しゆんの肇しやう筆ひつと採と無む
 上うへに辟ひやく手て書しよ曰いく又また雨あめ

甲子初春 内新哥迷





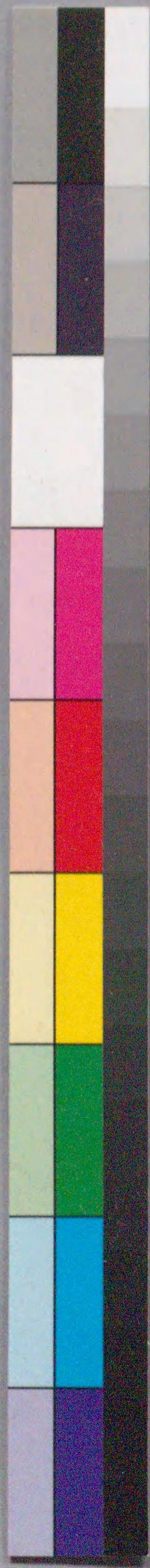


ちんちんさんさの
 うしとさんしつ
 あつしんえねいおとの
 きんぬんまのび
 出よとのなせめて
 てしらのさるがめち
 きーとのまねを
 さまけんとの井
 どのんざーかまの
 あつしんさまがら
 ひとまがまのび出
 のつへんかまをば
 どのんざーあん
 とわんざんと
 そのまーてん
 ようあしで
 表のび物おちり
 ぐんぞう見えとがち
 けれれすのものは
 子さーころ
 うんちさー
 てまのびり



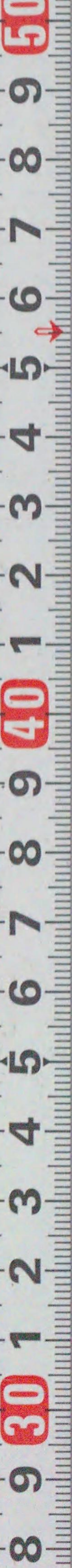
ちんちん
 うしと
 あつしん
 きんぬん
 出よと
 てしら
 きーと
 さまけん
 どのんざ
 あつしん
 ひとま
 のつへ
 どのんざ
 とわんざ
 そのま
 ようあ
 表のび
 ぐんぞ
 けれれ
 子さー
 うんち
 てまの

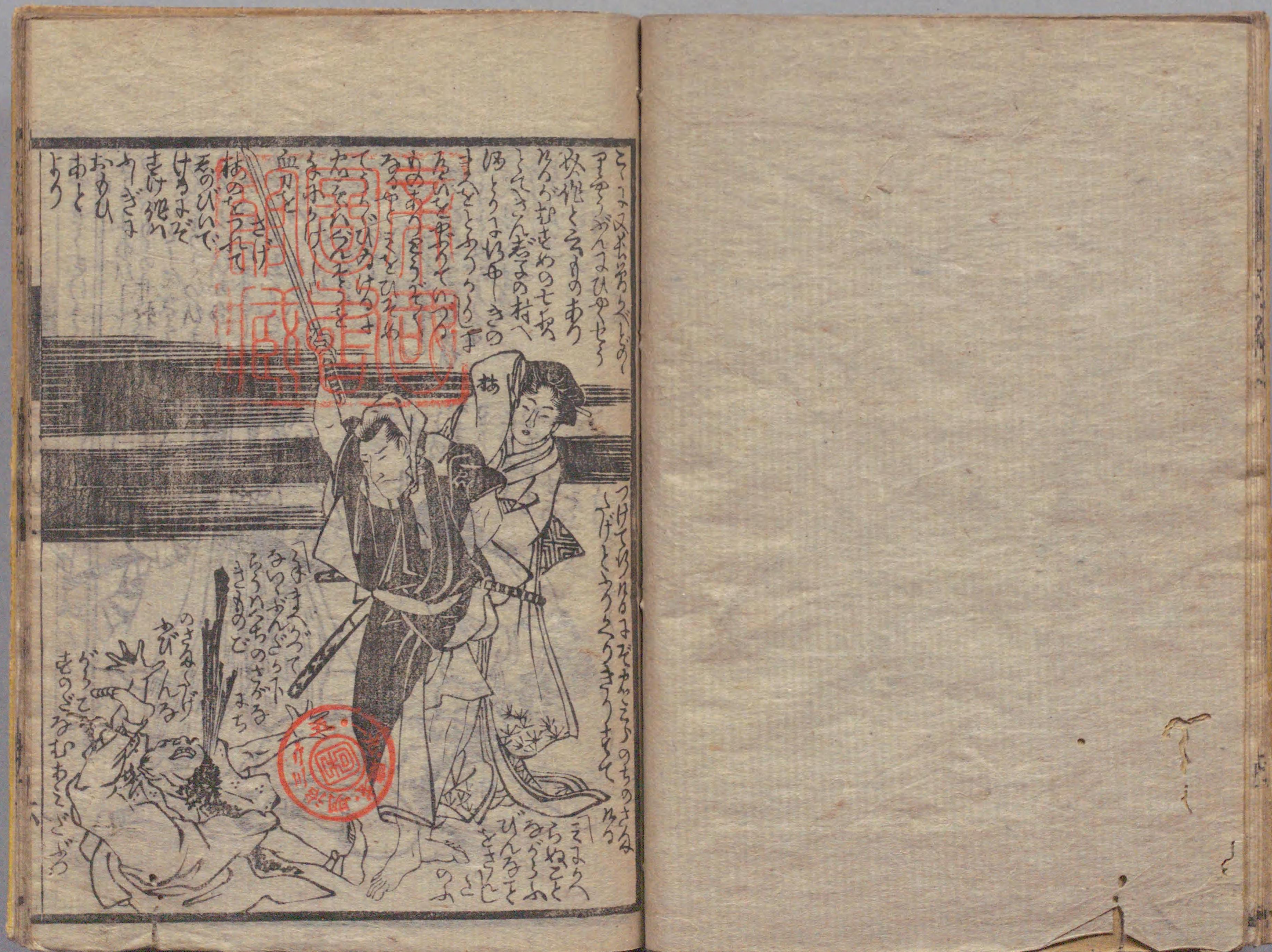




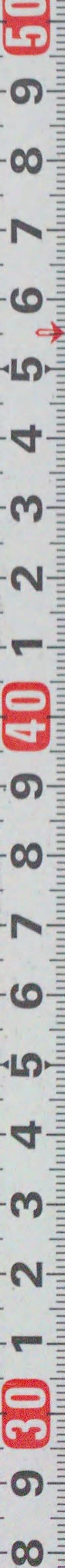
国立国会図書館 恩愛猿仇討 : 3巻 207-725

ガラス使用

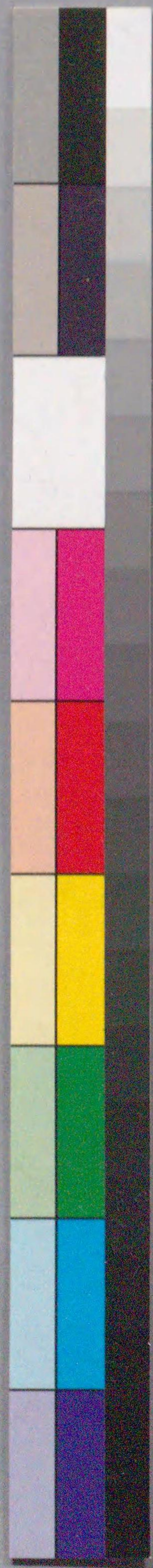






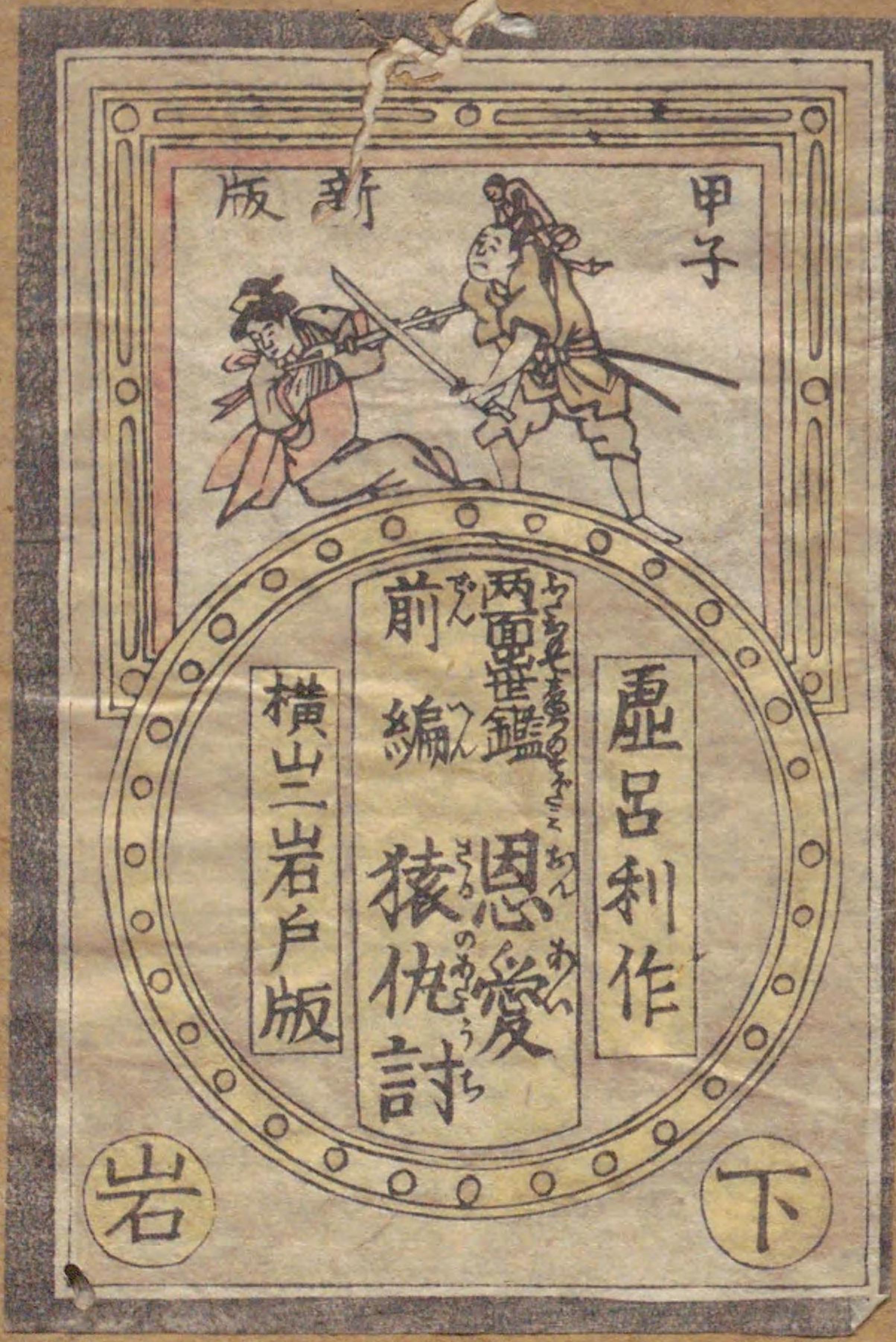


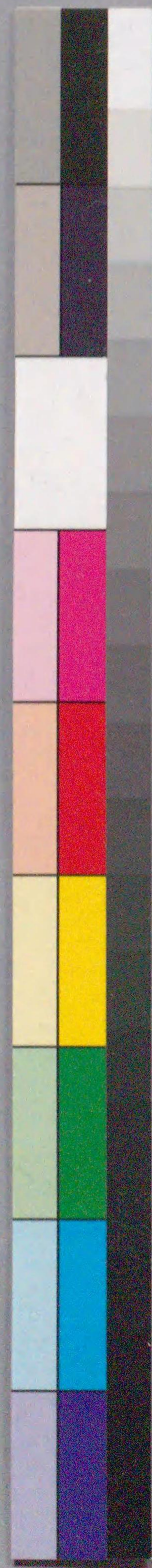


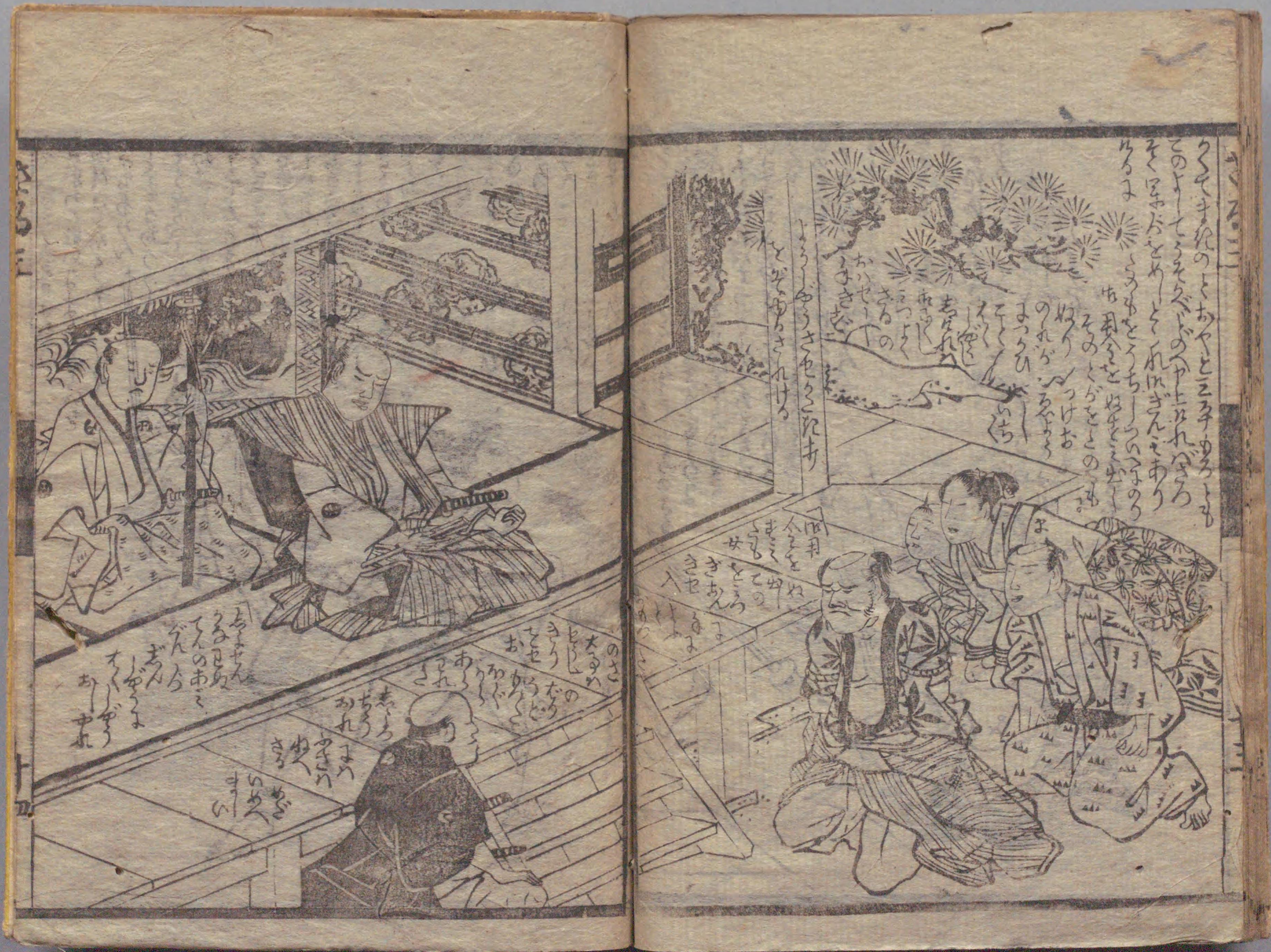


国立国会図書館 恩愛猿仇討：3巻 207-725

ガラス使用







8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

三

十五

あまびよりくさきおれれ
とのあもあらんあさくまを
せがれをわの井お母
あきあきあきあきあき
あひなれあひなれあひなれ
あひなれあひなれあひなれ



横井おとすまぬのまうり
他娘おはなを命いあまの
さしはわやんあまのま

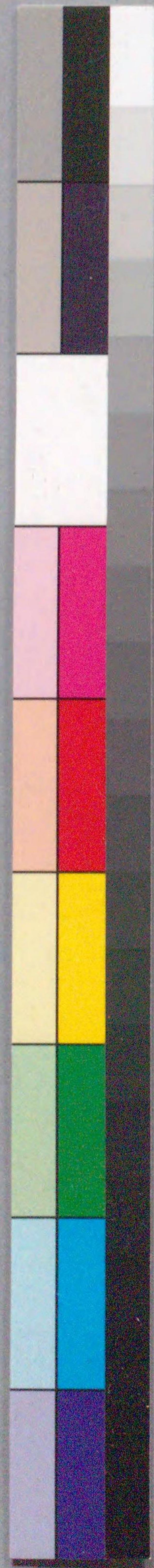


国立国会図書館 恩愛猿仇討 : 3巻 207-725

ガラス使用

207
725





国立国会図書館 恩愛猿仇討：3巻 207-725



ガラス使用

